

著者

ラシード・ハーリディー (Rashid Khalidi)

1948年、米国ニューヨーク生まれ。博士。コロンビア大学エドワード・サイード特別記念教授(現代アラブ政治)。ペイルート・アメリカン大学(AUB)で教鞭を執り、2003年より現職。パレスチナ研究所(IPS)発行 *Journal of Palestine Studies* 編集委員。中東近現代史を幅広く専門とする。1982年にイスラエルによるレバノン侵攻に現地でも遭遇し、*Under Siege: PLO Decision-Making during the 1982 War* (Columbia University Press, 1986) を著す。1991～93年にマドリードとワシントンでイスラエルとパレスチナの和平交渉に顧問として参加。*Brokers of Deceit: How the U.S. has Undermined Peace in the Middle East* (Beacon Press, 2013) など、米国によるパレスチナ問題への関与についても著作多数。



サビエンティア 71

パレスチナ戦争

入植者植民主義と抵抗の百年史

2023年12月15日 初版第1刷発行

2024年3月20日 第2刷発行

著者 ラシード・ハーリディー

訳者 鈴木啓之・山本健介・金城美幸

発行所 一般財団法人 法政大学出版局

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

電話 03(5214)5540 / 振替 00160-6-95814

組版 村田真澄 / 印刷 平文社 / 製本 積信堂

装幀 奥定泰之

© 2023

ISBN 978-4-588-60371-6

Printed in Japan